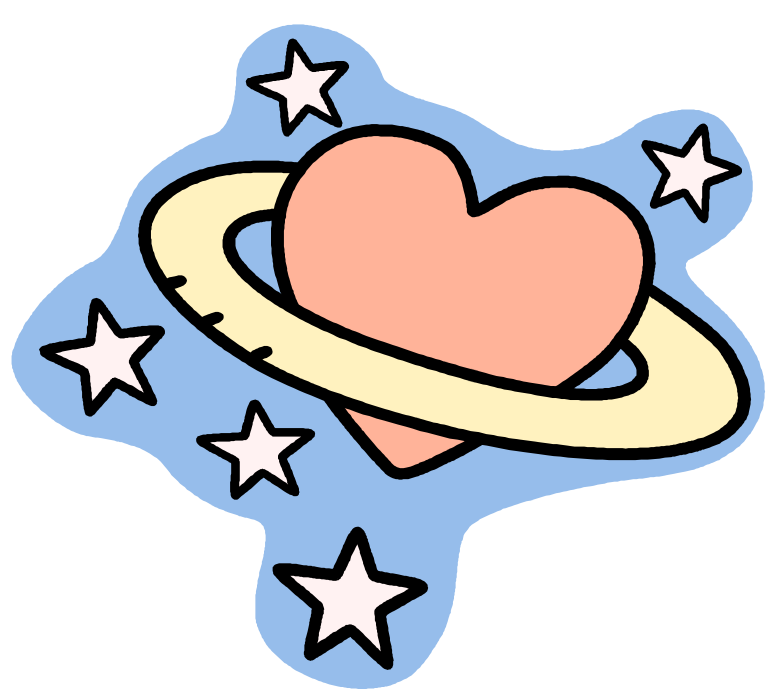




子どもの事故の現状

子どもたちに
安全を
プレゼント



0歳では誕生という特殊な状況があり、「先天奇形・変形および染色体異常」が死亡原因の第1位で、「不慮の事故」は第4位です。しかし、1歳以上になると子どもの死亡事故は急増して1～4歳では第2位、5～9歳では第1位、10～14歳では第3位になっています。わが国では子どもの1/4が「不慮の事故で亡くなっています。

子どもの死亡順位（2013年）

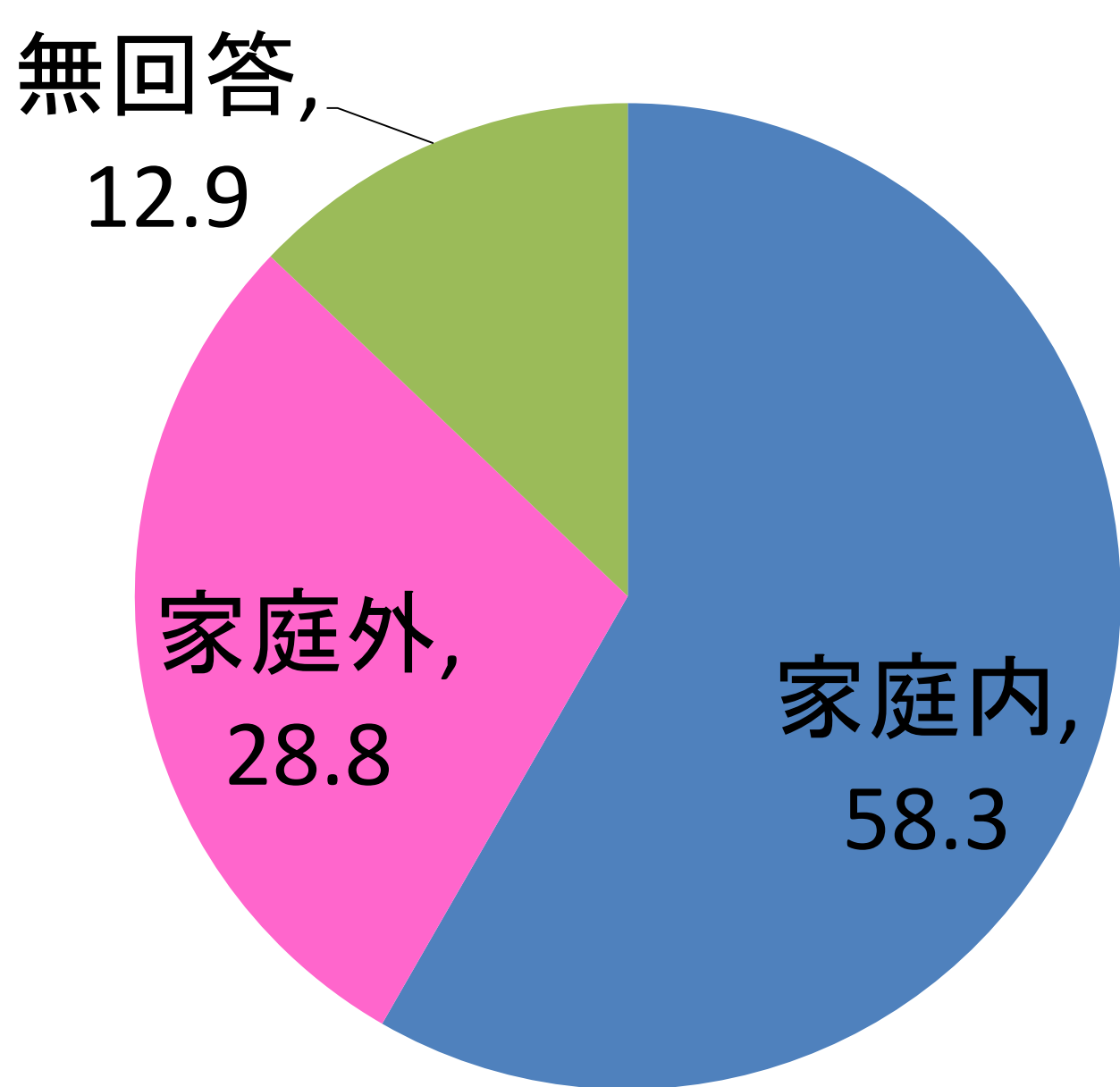
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
0歳	先天奇形・変形 及び染色体異常	周産期に特異 的な呼吸障 害等	乳幼児突 然死症候 群	不慮の 事故	胎児及び新生 児の出血性障 害
1～4歳	先天奇形・変形 及び染色体異常	不慮の事故	悪性新生 物	肺炎	心疾患
5～9歳	不慮の事故	悪性新生物	その他の 新生物	心疾患	先天奇形・変 形及び染色体 異常
10～14歳	悪性新生物	自殺	不慮の 事故	心疾患	先天奇形・変 形及び染色体 異常

不慮の事故における死亡順位（2013年）

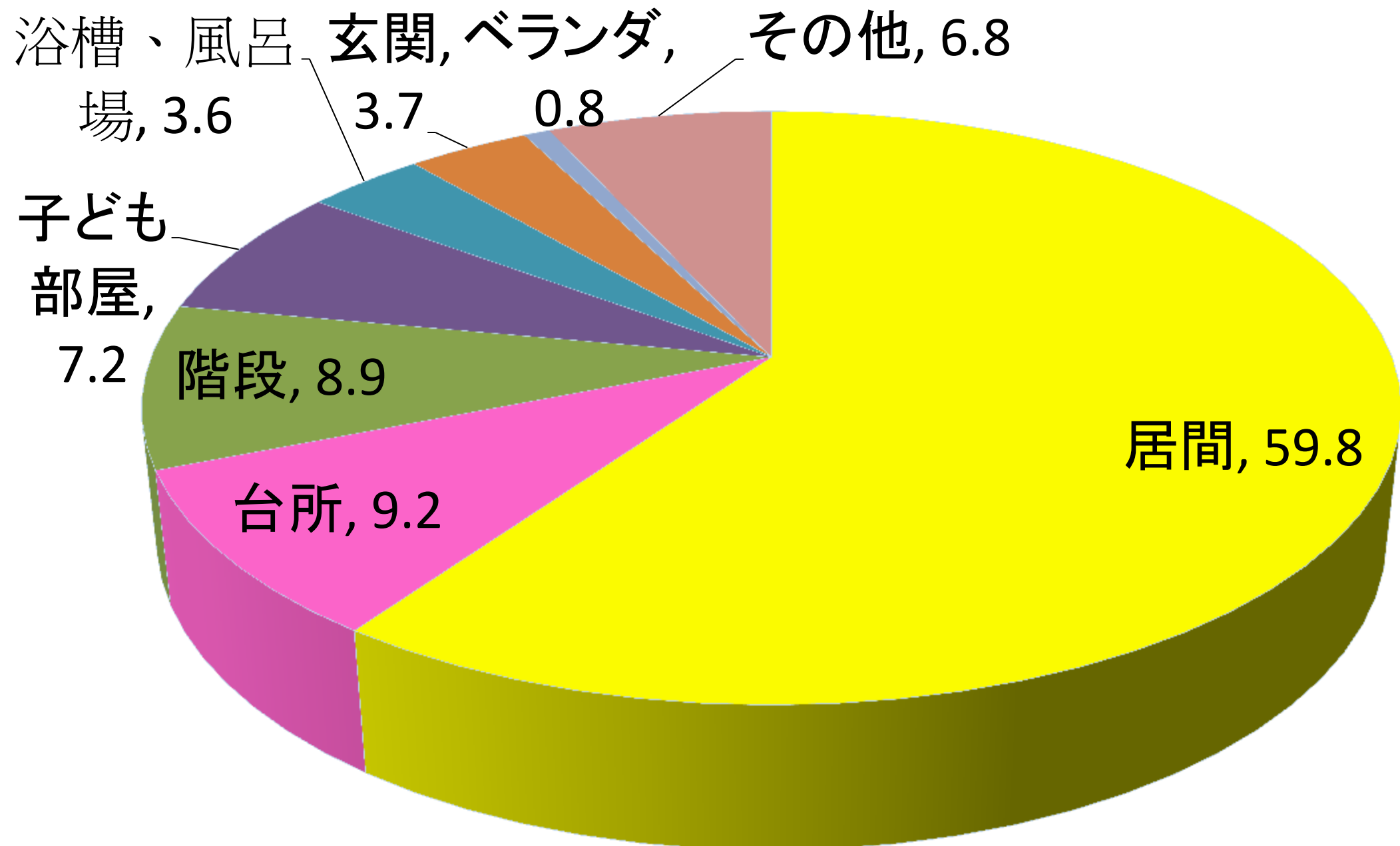
	第1位	第2位	第3位
0歳	窒息	交通事故	溺死および溺水
1～4歳	交通事故	窒息	溺死および溺水
5～9歳	交通事故	溺死および溺 水	窒息
10～14歳	交通事故	溺死および溺 水	窒息

資料：厚生労働省 平成25年人口動態統計より

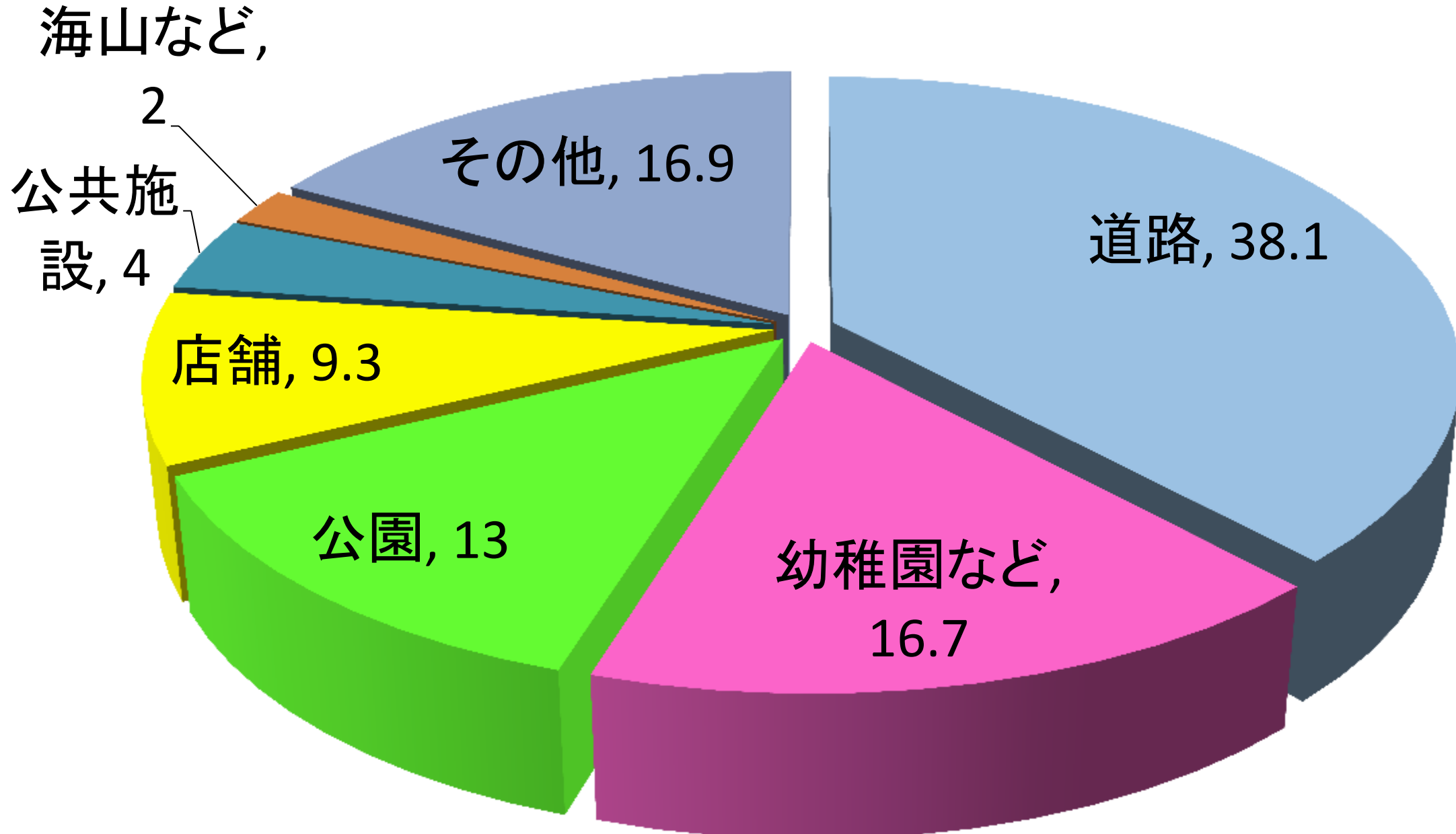
事故発生場所



家庭内事故発生場所



家庭外事故発生場所



田中哲郎著「新 子どもの事故防止マニュアル」

子どもの発達段階と起こりやすい事故

	運動機能の発達	転落	切傷・打撲	やけど	誤飲・窒息	交通事故	溺水事故
誕生		親が子供を落とす		熱いミルク 熱い風呂	枕・柔らかい布団 による窒息、吐乳	自動車同乗中の 事故	入浴中の事故
3ヶ月	体動・足をバタバタさせる	ベッド、ソファ からの転落		↓	↓	↓	↓
5ヶ月	見たものに手を出す 口の中にもものを入れる		床にある鋭いもの	ポット・食卓の湯 アイロン	小さな玩具 タバコ		
6ヶ月	寝返りを打つ		鋭い角のある玩具	↓	↓		
7ヶ月	ずわる	歩行器による転落		ストーブ、炊飯 器、タバコ	↓		
8ヶ月	はう	階段からの転落			↓	道でよちよち歩き	浴槽への転落
9ヶ月	物をつかむ	バギーや椅子か らの転落	鋭い角の家具、 建具、カミソリ		ひも、よだれかけ		
10ヶ月	家具につかまり立ちを する	浴槽への転落			↓		
11ヶ月		↓			ナッツ類		
12ヶ月	1人歩きをする	階段の昇り降り の転落			↓		
13ヶ月	スイッチ、ノブ、ダイ アルをいじる	窓、バルコニーか らの転落	テーブルや机の 角、引き出しの角		化粧品、薬品、洗 剤		
1歳半	走る、登る				↓		
2歳	階段を昇り降りする	ブランコからの転落		マッチ、ライター、 花火、湯沸かし 器	ビニール袋		プール、川、海 の事故
3歳		↓	野外の石など	↓	↓	三輪車の事故	↓
3～5歳	高いところに登る					自転車の事故	

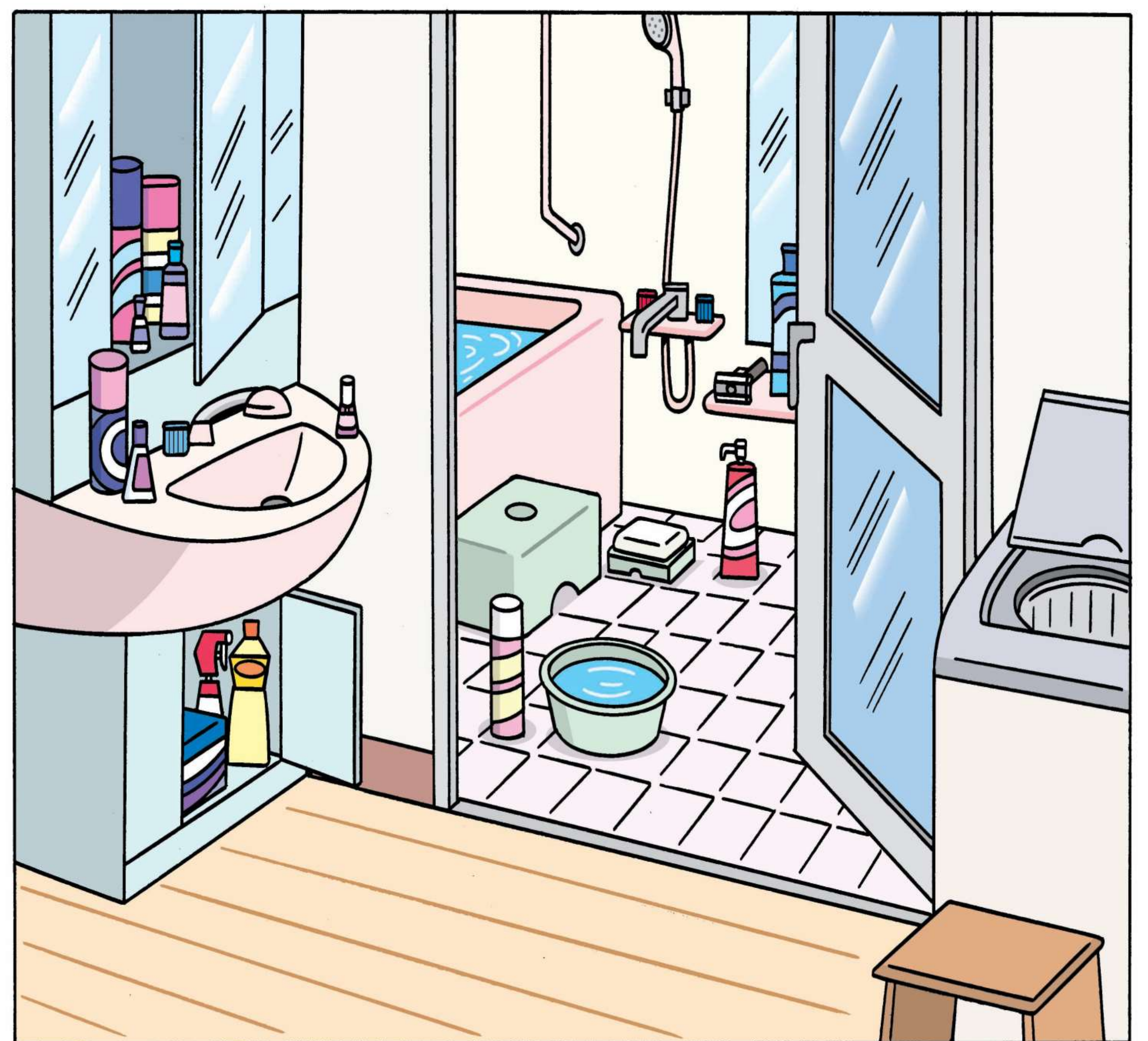


家の中は危険がいっぱい！？

子どもたちに
安全を
プレゼント



子どもを事故から守るために、家の中を見直してみませんか？
絵をみて一緒に考えて見ましょう！



危険なところは17箇所あります。どこでしょう？
考えてみてください。

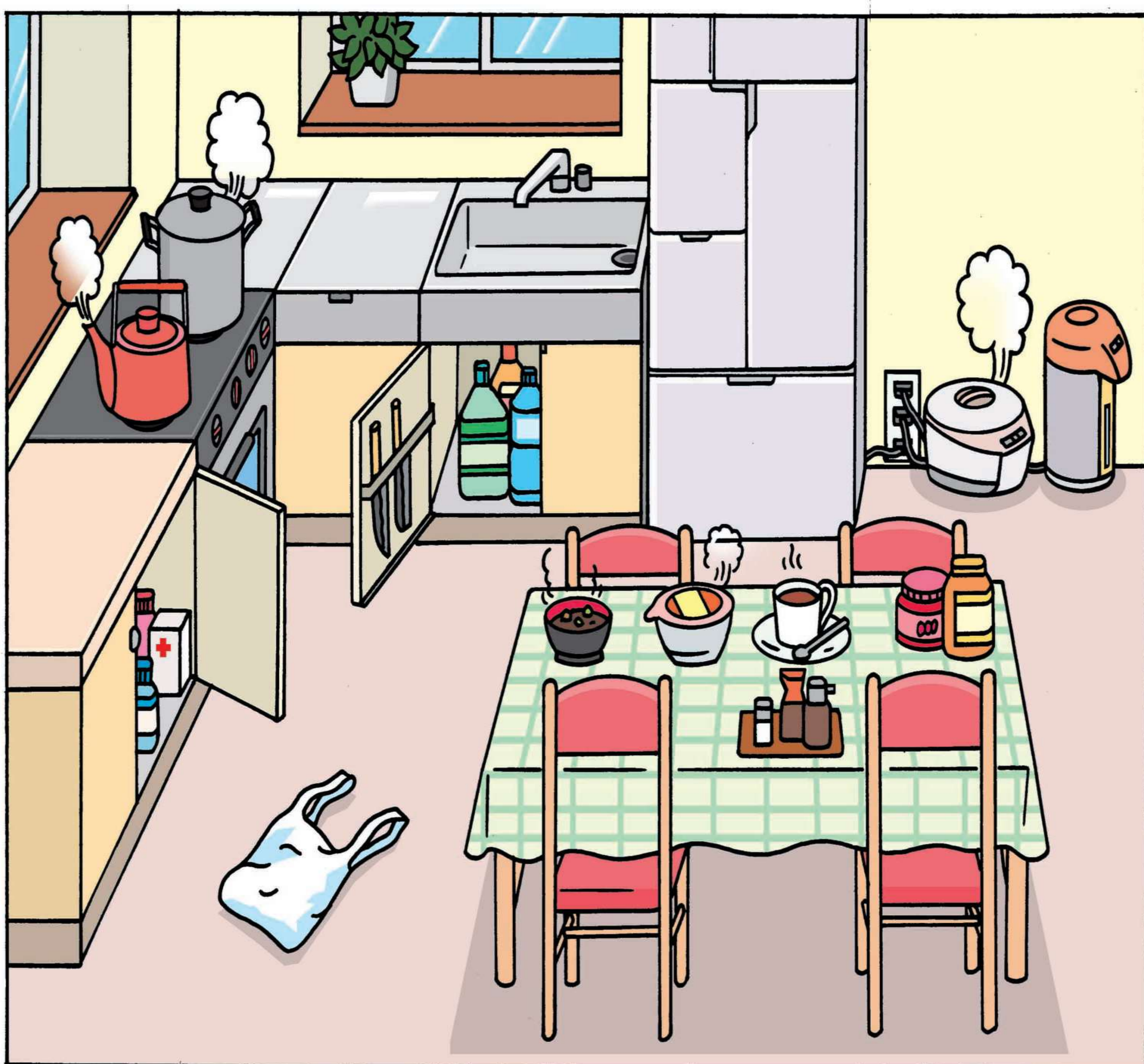
<ヒント>

- ・誤飲しそうなものは？
- ・やけどに注意！
- ・0歳児の不慮の事故における死因第一位は窒息
- ・転倒、転落の危険箇所
- ・指をはさむ危険性が高いところは？

子どもの目線にたって、考えてみてください。

<ヒント>

- ・子どもは大人が使っているのを見て興味をもちます
- ・好奇心をそそられ、つい中をのぞいたり、手を出してしまったり・・・



台所には、火、水、包丁、コンロなど、子どもの興味をそそるものがいっぱい置いてあります。

<ヒント>

- ・台所で多い事故は、やけど、刺傷、切傷です
- ・子どもの手が届くところに危険あり！

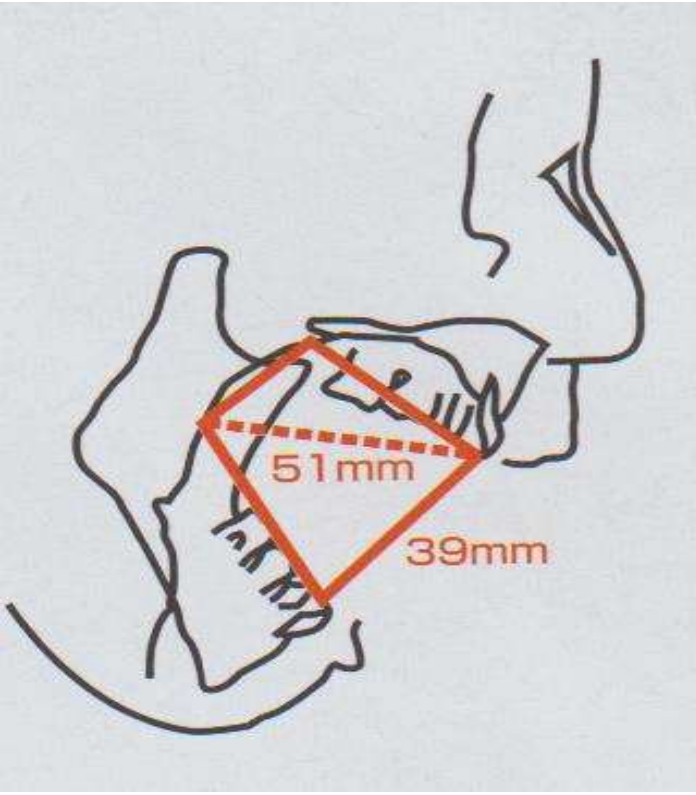


ベランダでの事故というと「転落」が心配です。
どこに気をつけたらいいのでしょうか？

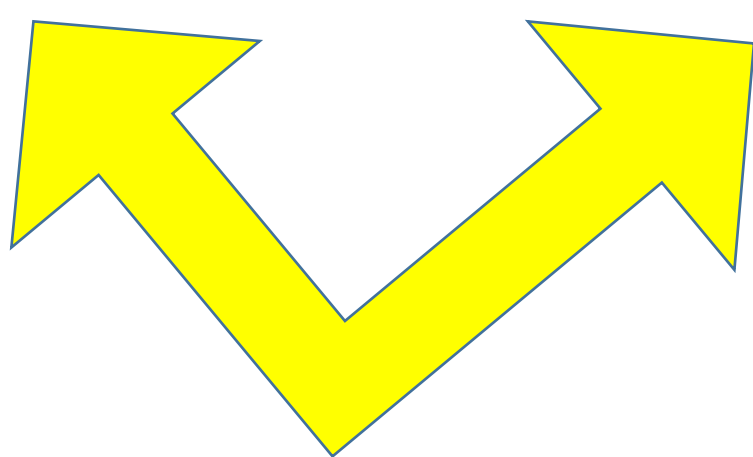
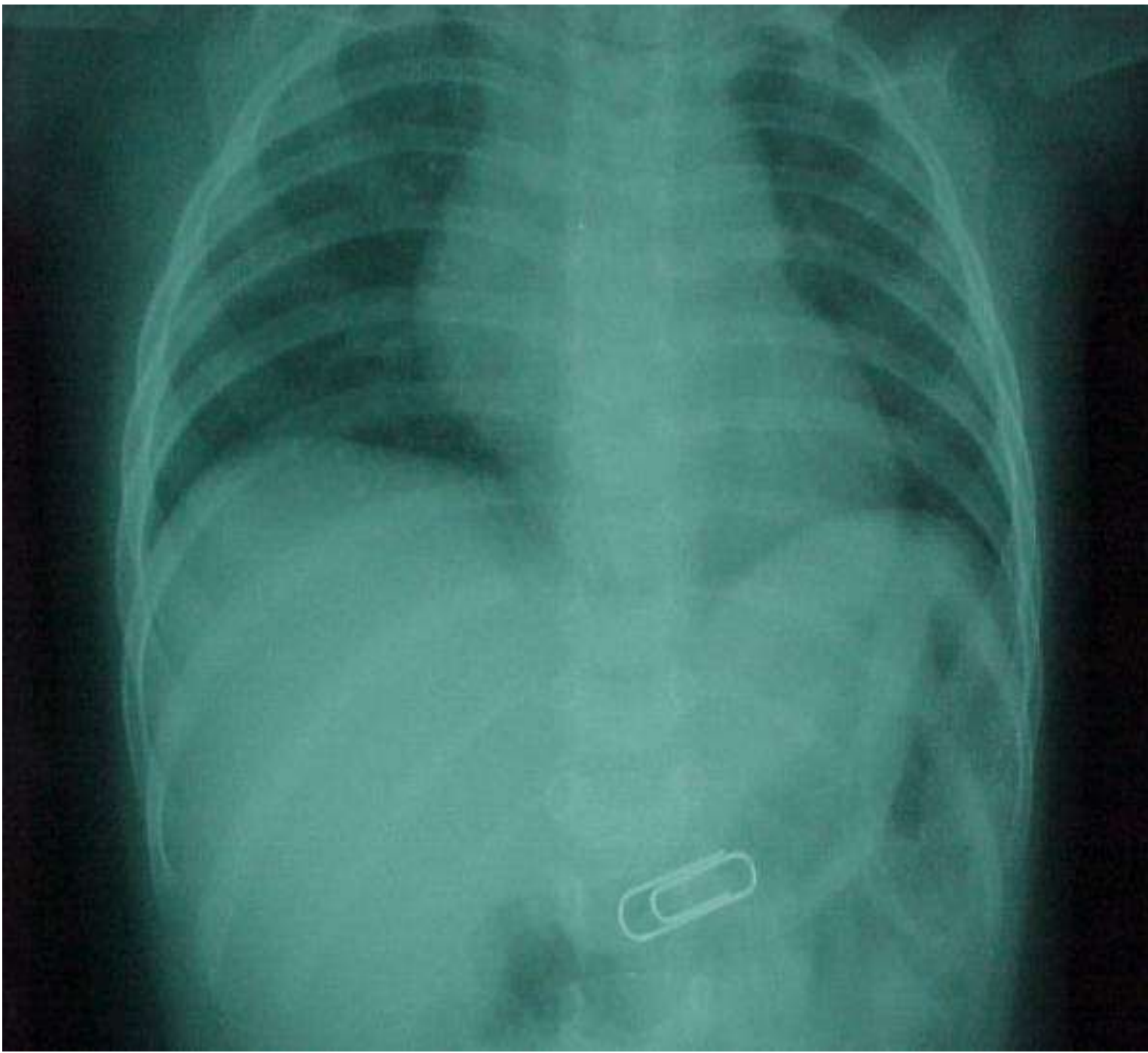
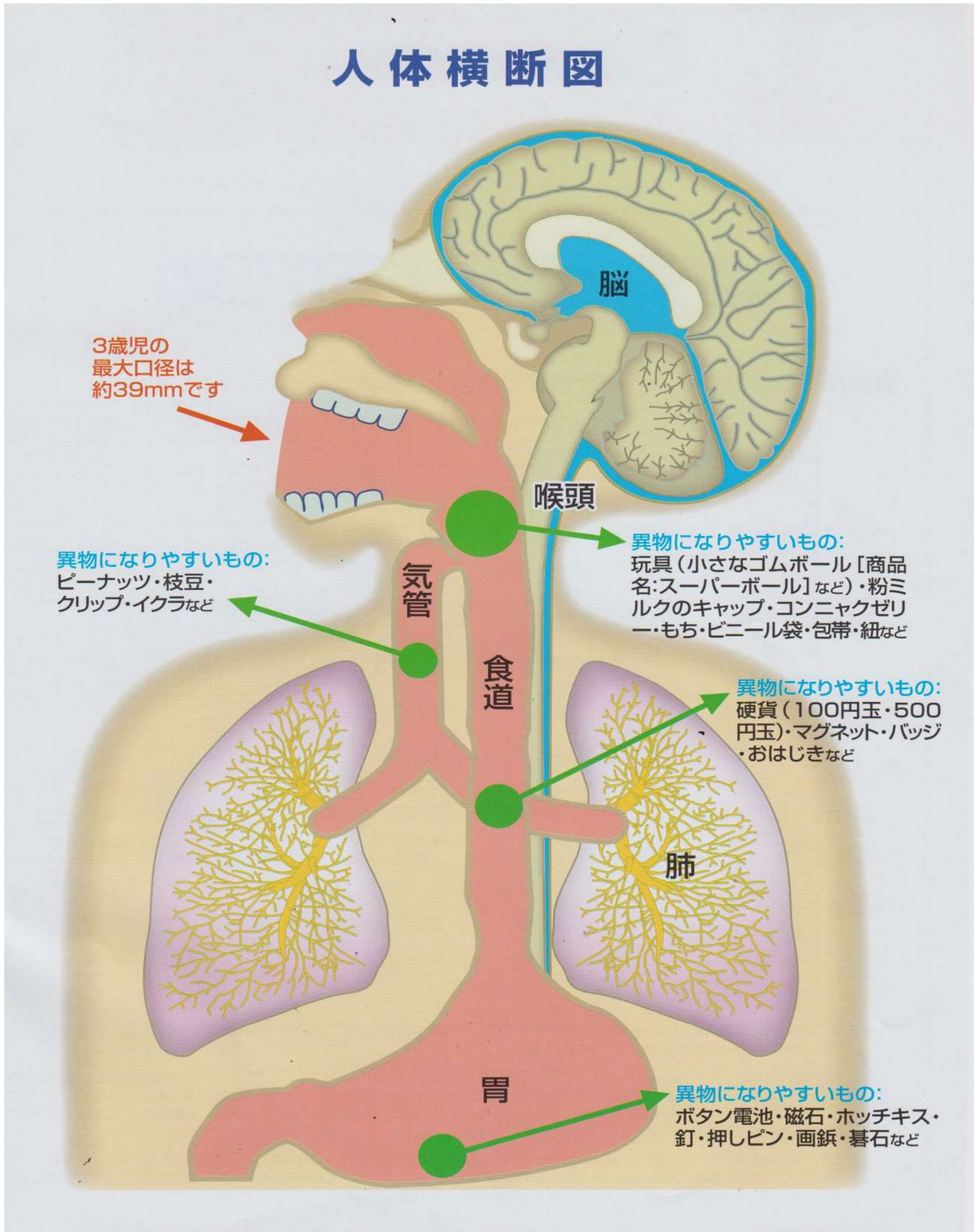


誤飲

子ども(3歳児)は直径約39mm、長さ51mm以下のものは誤飲してしまう可能性があります。



誤飲チェッカーで確認してみてね



異物を誤飲した、実際のレントゲン写真



<誤飲防止活動>

- ・身の回りのものを誤飲チェッカーで確認してみましょう
- ・トイレットペーパーの芯(約37mm) サランラップの芯(約34mm)で代用もできます
- ・1M以下のところに物を置かない

転倒・転落・溺水



踏み台になるようなものを置かない



子どもの手が届く位置は1M

市販の安全グッズ

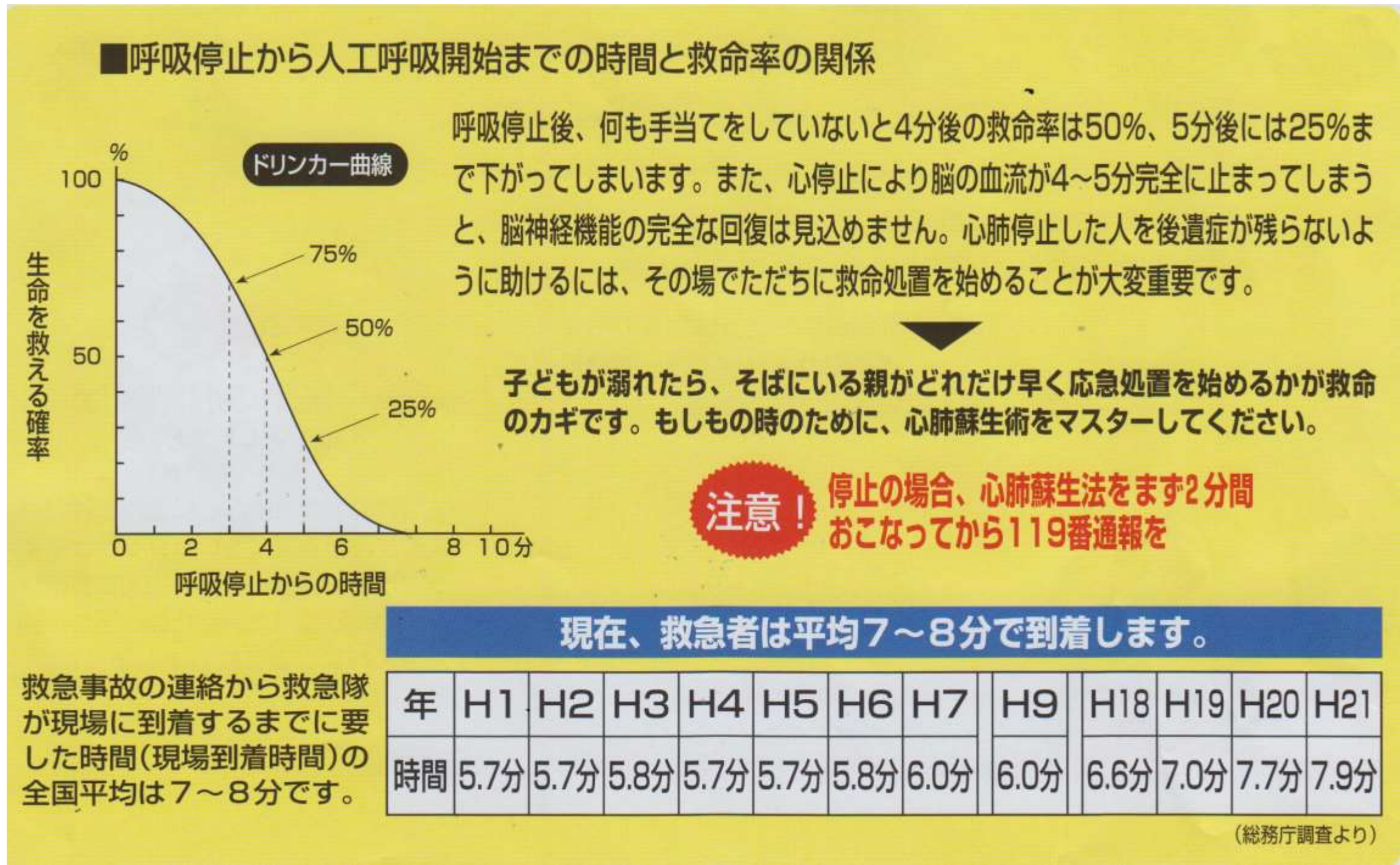
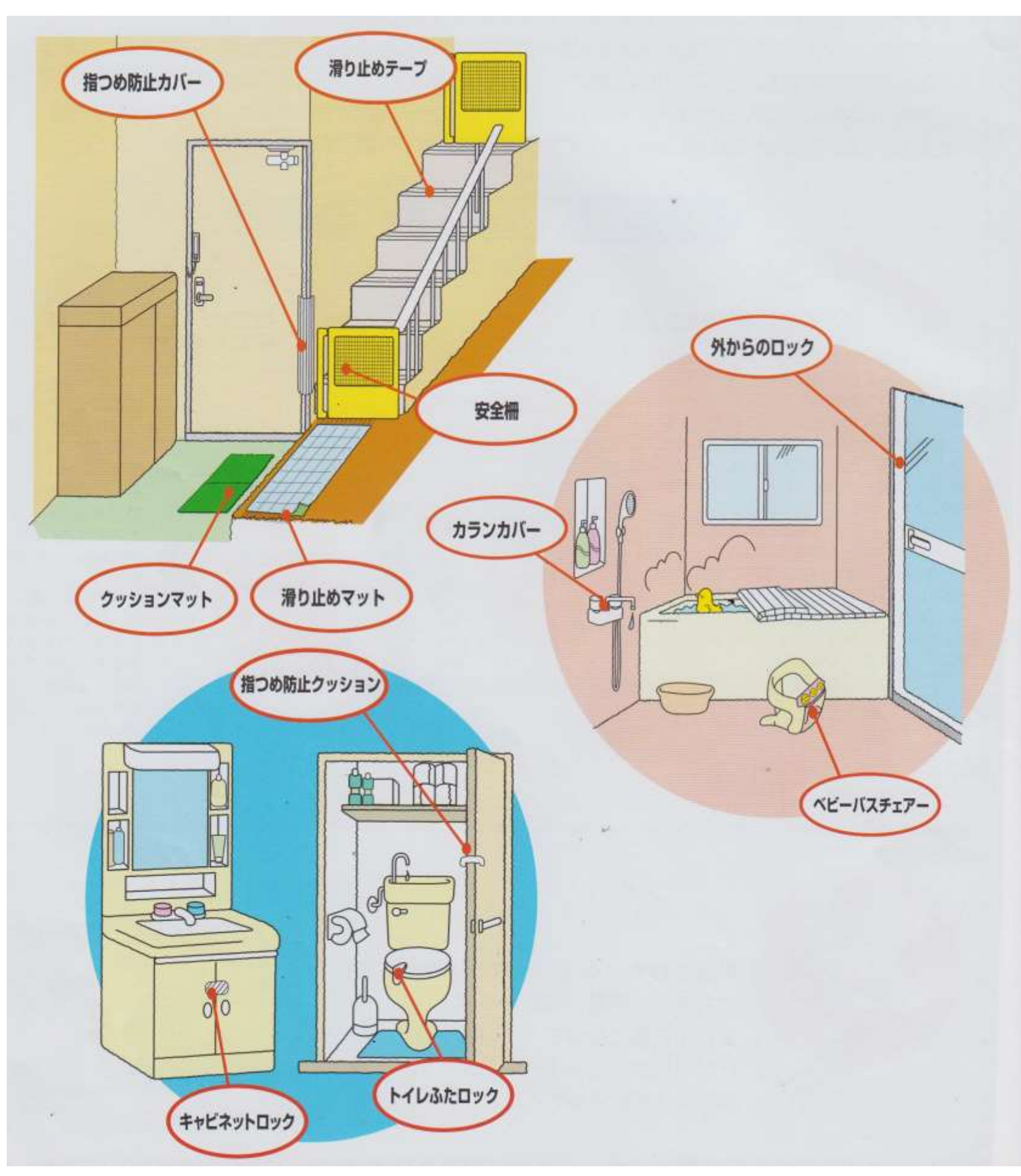
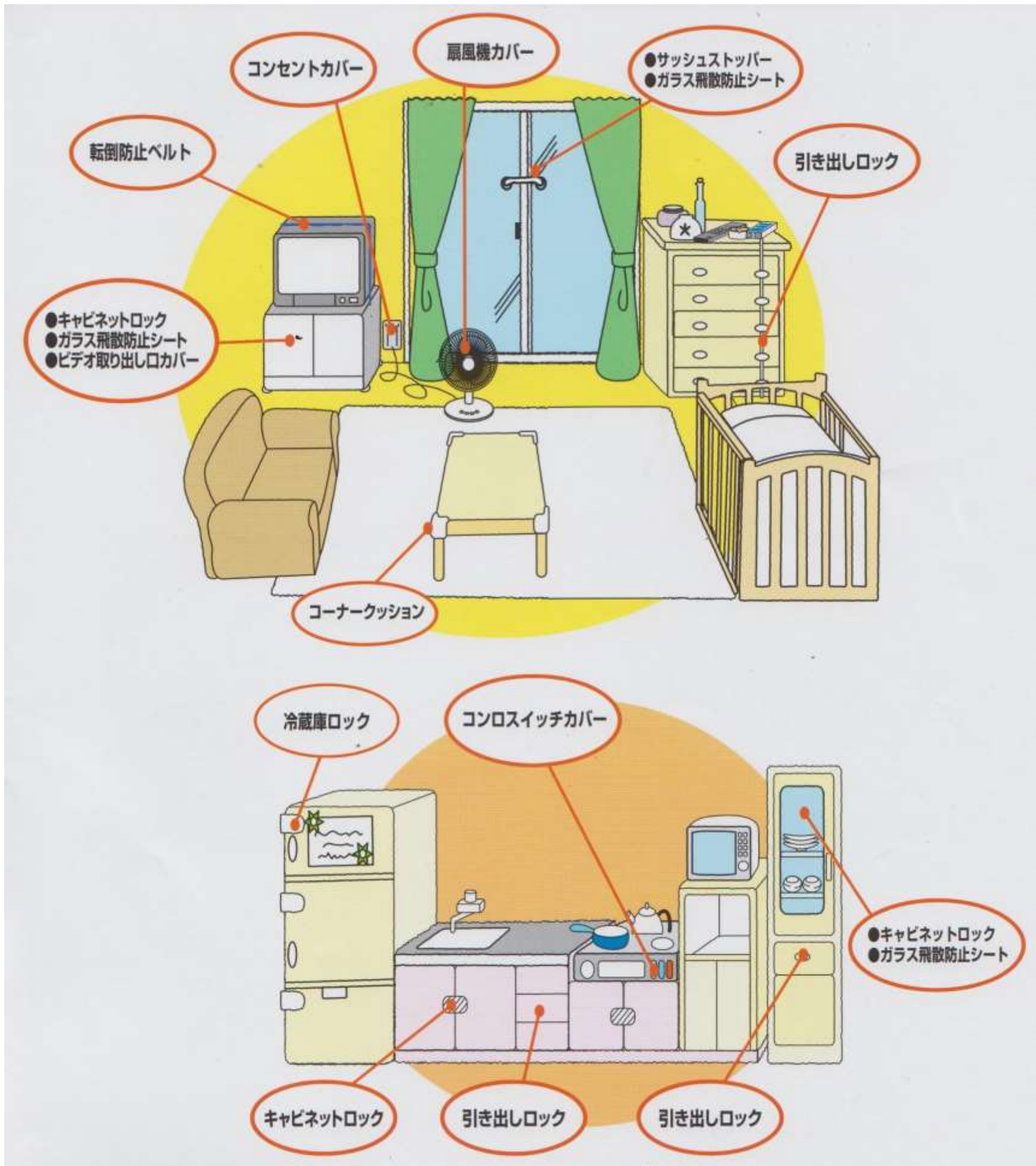
身の回りのものを利用して安全グッズを作ったり、市販の安全グッズを使用し、子どもにとって安全な環境作りを心がけましょう。



子どもの手が届くところは、カバーで保護



残し湯をしない 入り口に鍵をする



心肺蘇生法

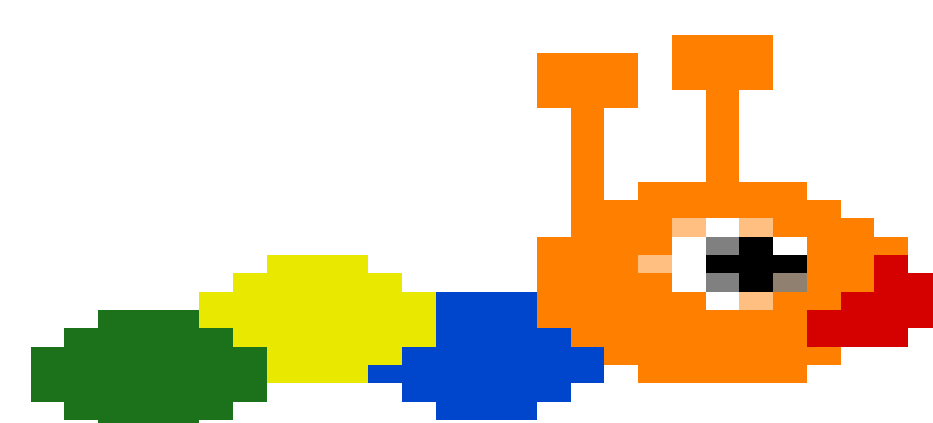


子どもの命を助けられるのは、発見者しかいません。呼吸が止まった子どもを後遺症なくたすけるには、直ちに心肺蘇生法を始めることが不可欠です。講習会に参加して体験して身につけましょう。



子どもの事故 あれこれ

子どもたちに
安全を
プレゼント



<誤飲>

1位 紙や包装紙の切れ端
(ポリ・ビニール・シール等の袋)

2位 医薬品

3位 玩具

4位 文具

5位 アクセサリー

以下 化粧品・ボタン電池・タバコ・コイン等

1歳前後の乳幼児は、手に触れたもので口に入る大きさなら、何でも口に入れます。
一般的に子どもの誤飲で一番多いのは、タバコと報告されていましたが、紙や包装紙、シールなどです。誤飲して胃の中に入ったものは便に出てきますが、気道に入ると窒息などの呼吸障害を起こし危険です。呼吸困難でゼイゼイ、ヒューヒューいっているときは緊急対応が必要です。



ブドウで窒息！？

2歳6ヶ月の子どもが、ブドウ(直径3cm大、皮をむいた種無し、今回が初めて)まるごと1個を1人で摂取していたが、突然咳き込んだ後に、泡を吹いて意識消失した。通行人にハイムリッヒ法を施行され、ブドウは排出され助かった。

<溺水>

風呂の浴槽：転倒・転落など

詳細不明

浴槽用浮輪で沈んだ

プールへ転落

ベビーバスへ転落

トイレにはまった

溺水は家庭内で起こる最も悲惨な事故で、危険度が極めて高い事故です。

親が洗髪中に溺れた。親が電話に出たすきに溺れた。など、ちょっと子どもから目を離したすきに事故が起こっています。また、残し湯をしたお風呂に1人で入りこんだ子どもが、風呂桶を踏み台にして、船などのおもちゃを浮かべて遊んでいる時に、体のバランスをくずして転落したケースも多いです。

①風呂場に子どもが1人で入っていないように鍵をかける。

②残し湯をしない。

③子どもと一緒に風呂に入っているときは、絶対目を離さない。

<転落場所>

1位 ベッド・ベビーベッド

2位 ソファ

3位 椅子(ベビーチェア・椅子など)

4位 階段

5位 住宅設備(段差など)

子どもは何歳になっても、お母さんの後を追っかけます。1歳を超えると階段や、段差のあるところからの転落が多くなります。衝撃を和らげるために転落しそうな場所の床に毛布やじゅうたんなどを敷くのも対策のひとつです。

転落後、泣いても抱っこすると泣き止み、いつもと同じに見えたら安心ですが、数時間は吐かないか、おっぱいをいつものように飲むかを観察してください。吐く、機嫌が悪い時は、受診してください。

<やけど>

1位 電気・ガス製品
(ホットプレート、炊飯器、電球等)

2位 暖房器具(ストーブ・ヒーター)

3位 食品(ごはん・粥)

4位 調理器具

5位 飲み物

やけどの原因がわかれば、危険なものを手の届かない場所に置くことで防止できます。

また思いもよらない事故に電球に触れる、おつゆの鍋に手を入れる、カップ麺やコーヒー・お茶(熱湯)をこぼすなどがあり、これは不注意によるものです。ドライアイスなどによる凍傷や火のついた蚊取り線香は手元に置かないでください。

